

# デルフィニウム シネンシス

八重咲きタイプやベラドンナタイプとは一線を描いた、スプレー状に分枝した草姿を持つ。  
小花にデルフィニウム特有の距がなく、上向きに開花する。  
草丈は 60~80cm 程度とコンパクトで、花束やアレンジとして用いられる。

学名 *Delphinium grandiflorum (D.chinensis)* キンポウゲ科  
和名 飛燕草 (ヒエンソウ)  
原産地 中国~シベリア

特性・・・耐寒性の宿根草だが、耐暑性は若干弱いため、園芸上は一年草扱い  
開花特性・・・高温長日  
開花期・・・6~7月  
栽培環境・・・日当たりが良く、有機質に富む肥沃な土壌

1 坪あたりの植え付け本数 2 度切り・・・約 44 本/坪  
密植 1 度切り・・・約 130 本/坪  
1 株あたりの採花本・・・1~10 本  
(1 番花 1 本、2 番花 3 本、3 番花 5 本計算)



## 播種

播種時期・・・9~10月  
発芽条件・・・  
発芽適温・・・15~20℃  
発芽日数・・・約 10~14 日

## 定植

定植時期・・・11~12月  
定植間隔  
2 度切り・・・株間条間 20cm の 4 条植え  
密植 1 度切り・・・株間条間 12cm の 7 条植え  
畝・・・  
ネット・・・1 段  
マルチ・・・

## 肥料

元肥・・・N-P-K=1.0-1.0-1.0kg/a  
pH・・・6.0~6.5  
追肥・・・N-P-K= - - kg/a

## 作型

◆普通栽培・・・8 下旬~9 下旬播種、10 下旬~11 下旬定植、4 中旬~6 月出荷。  
無加温でも可だが、2~3℃程度の保加温  
◆3 回切り栽培・・・9~10 月定植、12~1 月出荷①、3~4 月出荷②、6~7 月出荷③。

(10~4 月は日長が 16~20 時間になるよう電照、加温 13~15℃管理)

◆2 回切り栽培・・・10~11 月定植、3~4 月出荷①、6~7 月出荷②。  
(12~4 月は加温 10~15℃)

◆高冷地向き栽培・・・3~4 月定植、6 下旬~8 月上旬出荷。

◆寒冷地向き栽培・・・6~7 月定植、9~10 月出荷。  
(定植後 50%遮光で可能な限り涼しく管理)

## 病虫害

害虫：ハダニ類、ヨトウ類、アブラムシ、ナメクジ

病気：灰色かび病、うどんこ病、白絹病、立枯病、軟腐病、斑点細菌病、モザイク病など

## 出荷

冬期は 70%程度、春~秋期は 50~60%程度開花した時が切り前となる。  
前処理は必ず行う。(クリザール K20C 等)

## 管理

発芽適温は 15~20℃だが、シネンシス系は比較的高温でも発芽する。

(株)ミヨシ栽培資料

生育適温は 20~25℃

定植直後は十分に灌水するが、過湿にならないように注意する。

夏~初秋に定植する場合は高温期に当たるため、定植後 1 ヶ月程度は出来るだけ涼しく管理し、早期抽苔を回避する。50%程度の遮光を用いると効果的。

※温度を下げる事が目的なので、黒遮光を使う産地が多い

電照は開花促進と草丈伸長の目的で行う。

日長延長法により、日長を 16~20 時間を目途とする。

※ただし、ある程度温度がないと効果が薄いため、加温と併用となる

加温は最低気温が 10℃を下回る時期に、15℃程度確保する。

特に開花期に温度が不足すると発色が悪くなるので注意。

生育スピードの早いF1 品種では、生育中は 10℃設定でも可だが、やはり開花期は 15℃欲しい。

シネンシスタイプは他タイプのデルフィニウムと違い、生育後半も水を切らずに栽培する。

逆に水が不足すると草丈が伸びず、花が団子状に密集することがある。また、2 番花となる芽の動きが悪くなる。

スプレースタイルに仕上げるには、頂花の部分と側枝の部分の見分けがつくようになってから、頂花の部分のみピンチする。

(目安は草丈が 30 cm 程度の頃)

採花後の前処理は必須。

高温期は、採花後にすぐ冷蔵庫に入れると前処理剤を十分に吸わないことがあるため、涼しい場所で吸わせてから冷蔵庫に入れると良い。